

令和2年2月28日

新型コロナウイルスとCPAP

新型コロナウイルス感染症で最大の問題になるのは重症の肺炎が起こることですが、その要因として高齢であることに加えて糖尿病、心不全、呼吸疾患などの基礎疾患があることだと言われています。私はこの呼吸器系の基礎疾患として睡眠時無呼吸症候群が極めて重要であると考えています。

典型的な睡眠時無呼吸症候群 (sleep apnea syndrome ; SAS) に女性に多い上気道抵抗症候群 (upper airway syndrome ; UARS) を加えた睡眠時呼吸障害 (sleep disordered breathing ; SDB) がありますと、睡眠中に気道 (呼吸時の空気の通り道) の閉塞と開通が繰り返されるために喉の奥 (上気道) のウイルスはどうしても肺 (下気道) に移行してしまうことになります。このウイルスは肺の上皮細胞内に入り込んで増殖をする性質を持っていることが特徴の一つです。

私は現在一般に言われている気管支喘息と気管支拡張症などの呼吸器系の基礎疾患に加えて睡眠時呼吸障害 (睡眠時無呼吸症候群+上気道抵抗症候群) が新型コロナウイルス感染時の肺炎発症の鍵であると考えています。当院で睡眠時無呼吸症候群の診断のもとに CPAP を使用中の皆様は仮に新型コロナウイルスに感染しても CPAP を使用して眠ることにより重症肺炎を合併するリスクを大幅に低下させることができると考えられます。さらに以前より申し上げていきますように*CPAP を着用して毎晩7時間以上の睡眠をとることにより免疫力が高まり風邪をひきにくくなりますので、本来ハイリスクである睡眠時呼吸障害の患者様にとっては手洗い・マスクに追加できる心強い防衛策になると考えます。

志水正敏

*CPAPは5~6時間の使用では気持ちよさを感じることがありません。

毎日規則的に7時間以上使用する事でCPAPが好きになります。

CPAP を7時間以上着用したときに出現する良質のレム睡眠

は心地よいものです。多くの健康な人々が朝寝を楽しんでいます。

このレム睡眠には高度な働きがあります。

過去の雑多な経験の意味づけや記憶の定着、さらには芸術的なヒラメキなど

がレム睡眠中に起こります。風邪をひかなくなり、がんに対する免疫力

が高まります。関節リウマチの活動性を下げる作用もあります。

レム睡眠時に筋肉のコンディションが良くなるということも重要です。

肌もきめ細かく弾力的になります。

大坂なおみは夢 (レム睡眠中) の中で出来た速いサーブを朝起きて

してみると出来るようになっていたそうです。(沢松奈生子 サンデー毎日2019年2月17日号)

2020年5月26日

睡眠時呼吸障害の患者さんはコロナ肺炎のハイリスクですが、そのリスクはCPAP療法でほぼ回避できます。

現在、コロナウイルスの感染が起こっても早期にPCRで診断し、(西宮市をはじめ関西圏では可能です)、入院をしていただいたうえでアビガンを投与すれば、まず大丈夫です。

大村先生のイベルメクチンはさらに確実な効果が期待できそうです。

経過によってはステロイド剤とアクテムラを使えば呼吸困難の状態を切り抜けることが出来ます。

テレビは相変わらず恐怖心を抱かせるような情景を流し続けていますが、私は皆様に「コロナウイルスを過度に恐れる必要はありません。もし感染が起こっても十分に有効な対策があります。心配になったらいつでもご連絡ください。頼りにしていただいて大丈夫です。」と申し上げたいと思います。

志水リウマチ科・内科診療所
志水 正敏

2021年4月23日

米国ファイザー社のCOVID-19ワクチンは現在流行中の新型コロナ変異種に対し感染予防効果および、感染後の重症化を防ぐ効果が確認されています。一方、米国CDCの公式見解ではCOVID-19ワクチンは正式には未承認です。未承認ながら緊急使用許可が下りているので、現在、この状況を理解した人に接種が容認されています。CDCは「ファイザーバイオンテックCOVID-19ワクチンを接種するかどうかは、受ける側であるあなたの選択です。」と言っています。CDCは接種後に現在まで報告されている副作用に加えて「予期しない深刻な副作用が発生する可能性があります。ファイザーバイオテックCOVID-19ワクチンは、まだ臨床試験で調査中です。」と説明をしています。

ワクチン接種をするかしないかはご自身でご判断下さい。

志水リウマチ科・内科診療所
志水 正敏

2021年7月26日

ファイザー及びモデルナの修飾ウリジン mRNA ワクチンは mRNA を封入したリピッドマイクロパーティクルを筋注することにより全身のあらゆる細胞にウイルスのスパイクタンパクを表現させます。ウイルスのスパイクタンパクを表面に持つ自己の細胞に対する免疫反応が起ることによりコロナウイルスに対するワクチン効果が得られるのですが、この過程で自己免疫現象が引き起こされることが懸念されますので自己免疫疾患の患者様では慎重に考えるべきです。また修飾ウリジン mRNA の働きで作られるウイルスのスパイクタンパクの量が人により過剰なまでに大量になる場合があります。

スパイクタンパクを注射する従来型のワクチンであればこのような副作用の危険性はありません。現在接種の始まっている mRNA ワクチンは長期の安全性について確認が済んでいません。従来タイプの国産ワクチンが使用出来るようになるのを待たれてもよいと思います。今はひとまず受けずに保留して2～3ヶ月様子を見られてはいかがでしょうか。

志水リウマチ科・内科診療所

志水 正敏

2021年9月25日 S氏への説明

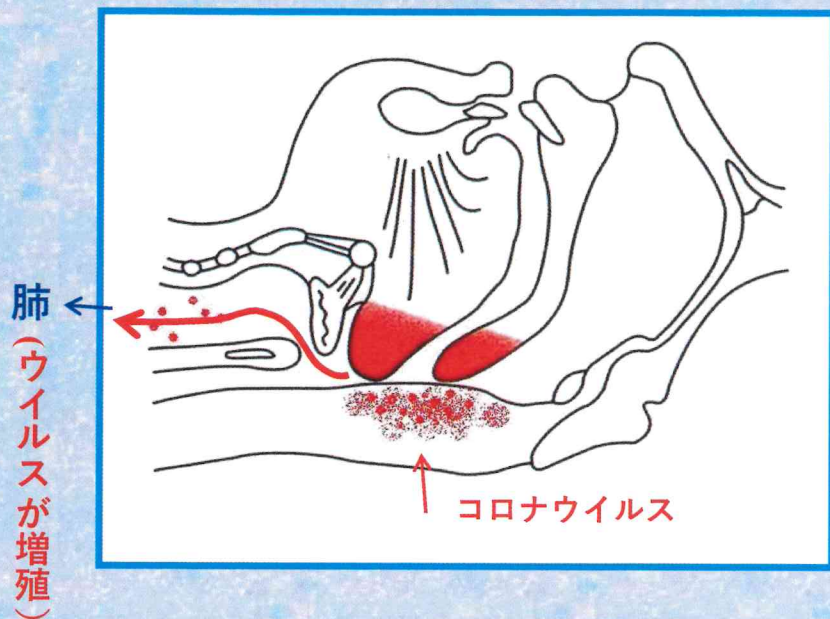
ワクチン3回目は要らないというのが私の考えです。2021年9月17日のFDA会議（WEB会議が you tube で公開）のスライドを紹介。65歳未満のブースター接種は賛成2・反対16で否決されており日本でも近いうちに大きく情勢は変わることが推測されます。急性心筋梗塞の増加や若い男性での心筋炎の増加などワクチンの様々な副作用について議論されています。アメリカで mRNA ワクチンの評価が大きく変わろうとしています。日本でも同じようになることが考えられます。アメリカで mRNA ワクチンを緊急使用許可（日本では特例承認）する為には、他の有効な治療があってはならないという規定があるために、効果的な早期治療法があることを当初からコロナウイルス感染症に対して有効なイベルメクチンの存在を意図的に隠してきたのではないかとということが疑われています。

Youtube での RajivMalhorta と PierreKory 資料（ピエールコーリーDr とインド人 RajivMalhorta の対談）、紹介。ファイザーの社長が2020年12月の時点でワクチン接種を受けていなかったと言うことはよく知られています。2021年7月でもまだ打っていないようです。

もしコロナウイルス感染が疑われる場合はすぐに連絡して下さい。早期に PCR 検査を依頼し、陽性確認後入院が決まらなければ当院の患者様にはイベルメクチンを処方することができます。

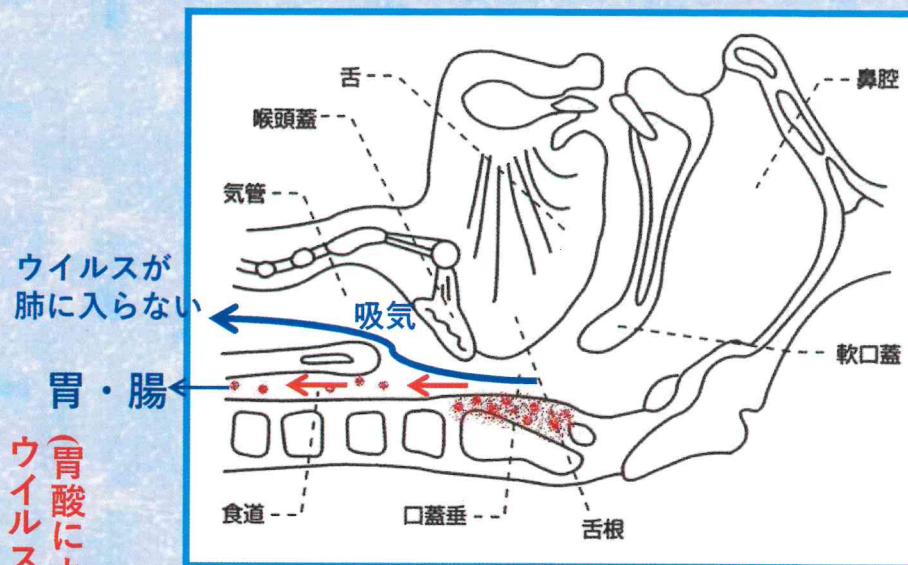
睡眠時呼吸障害(SDB)と新型コロナウイルス肺炎リスクの考え方

SDBの人の睡眠時



肺内のウイルスに対する免疫反応・炎症のためガス交換が出来なくなる
ウイルス死滅後もウイルス抗原に対する免疫反応・炎症が続く

覚醒時 / 元々SDBがない人の睡眠時 / SDBの人がCPAPをして睡眠中



ウイルスの増殖を抑制：アビガン、イベルメクチン
ウイルス抗原に対する免疫反応による炎症を抑制：
ベタメサゾン、アクテムラ

Shimizu Rheumatism Clinic